

# 金メダリストと“快歩、

## 湯梨浜で全日本ノルディックウオーク



東郷池1周のコースに出発する荻原さんら＝10日、湯梨浜町の中国庭園燕趙園

第2回全日本ノルディックウオーク全国大会in鳥取・湯梨浜が10日、湯梨浜町で開かれた。五輪金メダリストの荻原健司氏らも参加し、東郷湖畔をポールを使って元気よく歩いた。

東郷池を1周する12キロのコースは昨年、全国第1号の全日本ノルディックウオーク連盟公認コースになっており、大会は昨年に続いて2回目。12キロに加え、4キロ、8キロの三つのコースで行われ、計1

03人が参加した。スタート前には公認指導員による指導なども行われ、ゲストウォーカーとして参加した荻原さんも「世界一とも言われるこのコースを歩くことを誇りに思う。日本中、世界中に

発信したい」とあいさつ。参加者はそれぞれのコースに分かれて中国庭園燕趙園前を元気よく出発し、ポールを使ってリズムよく歩いた。

出発の前後には、前日正午に出発した10キロウオークの参加者も燕趙園前に次々にゴール。最後の完歩者となった三朝町山田の吉野勇雄さん(68)は「体が力には自身があつたが、100キロは疲れ方が違った。まさに苦行だった」と充実感をにじませながら話していた。

【本社HPに動画】